

ふうけいきこう
風景紀行
野麦峠と御岳山
 69
 飛騨森林管理署
 (各署の景勝地等を紹介)

野麦峠と高地トレッキングエリア

「飛騨署」岐阜・長野県境に連なる御岳山と乗鞍岳の中間鞍部岐阜県側一帯には野麦国有林が広がっています。

県境には、野麦峠があり、江戸時代には、旧江戸街道(旧野麦街道)として江戸から赴任した代官・郡代たちの往来や善光寺への参拝道として利用されました。また、越中富山で獲れた鱒を飛騨鱒とし塩漬けにして高山を経由し、信州へ運ばれました。昭和初期に国鉄高山本線が開通するまで、飛騨を支えてきた道がこの野麦街道でした。

明治時代から大正にかけては、政府の富国強兵政策により、製糸産業が活発となり、信州の岡谷など諏訪湖周辺の製糸工場で働くため、飛騨地方から多くの若い女性が冬に往来しました。厳しい労働条件の中で病に倒れ、兄に背負われ飛騨へ帰る途中、「あ、飛騨が見える」と言っていて息途絶えたという少女の悲話は有名です。現在の峠には、地元野麦集落から空き家が移されて、二代目のお助け

小屋として春から秋にかけて営業しています。特に、九月から十月の紅葉シーズンは多くの観光客が訪れています。



峠に立つ「みねの像」



野麦峠の「お助け小屋」

また、御岳山麓北西側の木曾町との県境には、千間樽国有林や胡桃島国有林が広がり、周辺の県道御岳山・朝日線沿いには、標高一、二〇〇メートル、二、二〇〇メートル

かけて広がる比較的緩傾斜な台地(約二、〇〇〇メートル)に標高特性を活かした「飛騨御嶽高原高地トレッキングエリア」として専用のランニングコース「飛騨御嶽尚子ボルダリングロード」や日和田ハイランド陸上競技場、クロスカントリーコース等多くの施設が整備されています。特に涼しい夏の間は、全国各地から多



御岳山とスキー場



高トレ拠点の競技場

くの高校生や実業団等のトップアスリートを目指した選手が高地トレッキングの練習の拠点として訪れています。また、エリア内には高い標高を活かし十二月から五月中旬まで滑走可能な「チャオ御岳スノーリゾート」もあり、冬の間多くのスキーヤーで賑わっています。



野麦峠から望む乗鞍岳

▼アクセス
 (所在地) 岐阜県高山市(野麦国有林・千間樽国有林・胡桃島国有林)

お車でお越しの場合
 (岐阜県側) 国道四一号线久々野町から国道三六一号线で約五十分(スキー場・高トレエリア)

野麦峠へは国道三六一号线高根町で県道「奈川野麦高根線」に入り約七十分(長野県側) 国道十九号线で木曾町から国道三六一号線由約四十五分(スキー場・高トレエリア) 野麦峠へは約九十分